

4月

化学療法委員会の活動について

消化器外科・乳腺外科部長
(化学療法委員長)

つねだ あつし
経田 淳



“化学療法”と聞いてピンとくる方は少ないと思います。

“化学療法”を辞書で引くと、『癌細胞や病原微生物を化学的に合成した薬剤や抗生物質を用いて行う治療法の一つ』とあります。しかし、表題の化学療法とは、狭義の抗がん剤治療のことを指します。

まずはじめに抗がん剤治療に関するお話から始めます。いわゆる抗がん剤には様々な種類のものがありますが、近年はそれだけでなく分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬なども加わり、使用薬剤は多岐にわたっています。年々その数は増加し、使用方法は非常に煩雑になってきています。それに伴って、

これまでとは全く異なる副作用も経験するようになりました。

これまで抗がん治療は入院で行うのが一般的でした。しかし今では外来で行うことがほとんどで、安全に受けられるようになりました。そのためにも副作用を緩和させる支持療法や工夫を充実させることが非常に重要な要素となります。外来で抗がん剤治療を行うための専門部署を一般的に外来化学療法室と言いますが、当院では通院治療室と呼んでいます。

表題の“化学療法委員会”では以下の活動を行っています。

- ・ 現行レジメン（薬剤の選択や組み合わせ、投与方法を示した治療計画で、料理で言えばレシピのようなもの）の効果、妥当性、安全性などを検証する。
- ・ 新規レジメンの審査・承認
- ・ 化学療法クリニカルパスの整備
- ・ 外来化学療法室の管理・運営
- ・ 医療事故防止のリスクマネジメント、院内教育
- ・ 充実したインフォームドコンセントのための体制作りや広報活動 など。

あくまで最終的な目的は患者さんのための治療の質向上と安全性を確保することです。

化学療法委員会は、年4回開催する予定になっています。ただ、早急な対応が必要な懸案がある場合は、臨時で適宜開催しています。メンバーは医師5名、薬剤師1名、看護師4名、栄養士1名、事務員1名の計11名で構成されています。この委員会の活動は、人数的にも医師が中心になっていますが、実際の臨床の場では化学療法に精通した認定薬剤師と認定看護師が大きな役割を担っています。次のページ以降は、その二方からのお話しに続きます。

富山ろうさい病院では、毎月、魚津市ケーブルテレビ「NICE-TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2024年4月1日～15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮)4月からの新しい診療体制について」

(出演者) 角谷病院長、得田副院長、川崎副院長



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ

絶賛
放送中



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>